

参加費無料
登録不要

日本学術会議食料科学委員会畜産分科会
日本草地学会
公開シンポジウム

放牧・酪農による中山間地活性化の可能性を探る

日時：二〇一九年三月二十五日(月) 午後三時～午後六時

場所：広島大学・生物生産学部C二〇六教室(東広島市鏡山一丁目四番四号)

プログラム

司会：遠野 雅徳(農研機構中央農業研究センター主任研究員)

放牧・乳文化から日本中山間地の活性化を考える
平田 昌弘(帯広畜産大学教授)

放牧酪農の可能性—その魅力と罫—
梶村 恭子(農研機構畜産研究部門ユニット長)

放牧畜産の可能性—島根県邑南町の事例から
渡辺 也恭(農研機構西日本農業研究センターグループ長)

放牧草地確保のための草地・林地輪換システム
大久保 忠旦(宇都宮共和大学名誉教授)

酪農のSDGsへの貢献
木村 純子(法政大学教授)

一次産業を念頭に置いた地域活性化の考え方
上田 隆穂(学習院大学教授)

パネルディスカッション

主催：日本学術会議食料科学委員会畜産分科会・日本草地学会

共催：日本畜産学アカデミー

基盤研究 (A)「乳文化の視座からの牧畜論考—全地球的地域間比較による新しい牧畜論の創生」(代表・平田昌弘)

基盤研究 (B)「21世紀型農業経営のモデル創出に関する研究—乳文化産業の日欧比較—」(代表・木村純子)

お問い合わせ／シンポジウム事務局 平田昌弘 E-mail:masa@obihiro.ac.jp